

アイフォーコム株式会社



- 所在地：神奈川県横浜市
- 従業員：280名
- 会社設立年：1993年
- 事業内容：環境・ヘルスケア・文教分野におけるプロダクトサービス及び各種開発ソリューションの提供

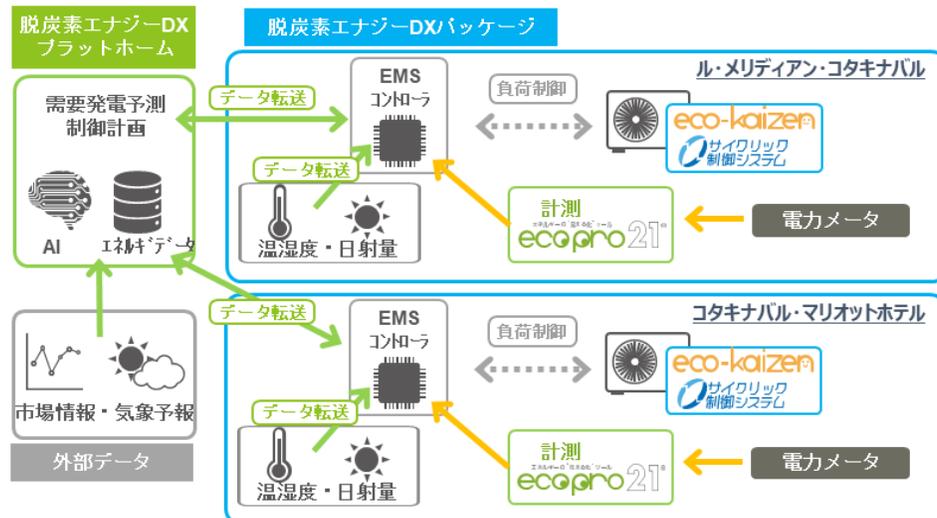
<https://www.iforcom.jp/>

プロジェクト名

- マレーシア観光施設におけるカーボンニュートラル達成のための脱炭素技術の実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：ZnZ Tjjarah Sdn. Bhd. 等
- 協力・連携の内容：事業に必要な機材設置、現地運用サポート



現地の経済・社会課題

- 当該国の脱炭素目標の達成と建物による高いエネルギー消費率への対応
 - ・ マレーシア政府は2050年までのカーボンニュートラル達成を目標とする。
 - ・ コタキナバル市のエネルギー消費では、商業施設が18%と都市交通に続いて2番目に高く、建物の脱炭素技術導入が喫緊の課題に挙げられる。
 - ・ 建物の脱炭素技術の普及促進はサバ州の開発計画（Sabah Structure Plan 2033）の中で挙げられているものの具体的な取組は不明である。

実証内容

- アクティブ技術（空調制御など）や外部データの組み合わせによる包括的なエネルギーマネジメントにて商業施設でのエネルギー消費を軽減する。
- 当地のマリオット系列の代表的な2つのホテルを対象建物として技術サービスの設計・導入・運用を行い、成果とりまとめとして実施する普及セミナーを通じて対象技術の普及展開を目指す。
- 同国ジョホール州で政府機関のオフィスビルを対象とした実証調査では、年間50万円の電力コストと約23.6トンのCO2削減効果が試算され、先方政府関係者からも好意的な意見を受けた。

期待される裨益効果

- 対象技術の導入により電力コスト・CO2排出量を削減する。
 - ・ 電力コストの削減効果：年間約980万円（空調設備（中央式+パッケージ型）の制御によるもの。事前の簡易的な診断により試算）
 - ・ CO2排出量の削減効果：年間約740 CO2-t/年（試算）
 - ・ グリーンシティを掲げる観光都市コタキナバル市において普及展開した場合、年間約7億円の電力コスト削減
 - ・ マリオット系列への波及を通じたマレーシア国内への事業拡大